

社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会

甲府市北新1-2-12 TEL:055(254)8610・FAX:055(254)8614

<http://www.y-fukushi.or.jp/>

【特集】

「託児サロン」の原動力



P2 ▶ 8年目を迎えた「託児サロン」の取り組み

忍野村社会福祉協議会

P6 ▶ 小児福祉機器展 in 山梨

P7 ▶ 見て・触れて・試して選ぶ福祉用具

P9 ▶ 福祉施設訪問(児童養護施設 あいむ)

P10 ▶ いきいき山梨ねんりんピック2013

P12 ▶ 福祉人材センター情報

● 福祉人材確保重点実施期間

● 福祉・介護のしごと魅力発信事業

P14 ▶ 山梨県認知症コールセンター

P15 ▶ 教育を支援する公的貸付・給付制度



▶▶ 保健師さんとの会話をきっかけに はじめた託児サロン

忍野村社会福祉協議会は村の保健福祉センター内の同じフロアで仕事をしています。ですから、日常的に村の乳幼児健診や予防接種などを見る機会も多いですし、必然的に保健師さんとお話をする機会もあります。普通は意見をお聞きしたり現状把握をするには、意見交換会やなにかしらの会議の場を設けたりするものです。ですが、忍野村社協ではあらたまらなくても情報交換や連携をとることができます。

そんな日常的な会話の中で保健師さんから「小さい子どもがいてお医者にかかれない」「ほんの少しでも息抜きをしたい」「どこか預かってもらえるところはないですか?」という相談をよく受けるというお話を聞きました。そこで、ボランティアが子育て支援に携われないかと考えました。それが託児サロンを始めるきっかけでした。

▶▶ 事業化にあたっての模索

いざ始めようとするとうボランティアや場所の確保、時間調整、安全性などいろいろな問題がありました。社協が関わることだけに特に安全性の確保は大きな条件の一つ。

よい方法がないかと考えているところに都留市社協さんの「ふれあい子育てサロン」があると聞きました。忍野でも出来ないかと関係者を集めて相談し、実際に数回センターを使ってお預かりしました。その後、同センターの裏に忍野児童館「来夢」が設立され、これを機に平成17年4月からこの「来夢」で基本、毎週水曜日、6ヵ月以降の未就学児10人程度をお預かりする「託児サロン」がスタートしました。

▶▶ 村や関係施設との協力

実は、忍野児童館「来夢」をお借りする費用はかかっていません。「来夢」はいわゆる放課後児童クラブ(学童保育)の施設でもあり、日中小学生は学校にいるため使われていません。そこで施設の有効利用のためと小さい子どもが使う玩

具や紙芝居、大きなすべり台など移動や管理が大変な備品を含めてお借りすることができました。これらは非常に大きかった。親御さんから頂くのは保険料の1回100円のみです。その他必要な運営費は赤い羽根共同募金の配分金などを利用し事業費負担を少なくしています。

▶▶ 民生児童委員とボランティアの 積極参加

なるべく子ども1人に対して1人の担当というマンツーマン方式を取り入れています。そのためには多くのボランティアの皆さんの参加が不可欠です。そこで、子どもに関わる仕事を希望しているボランティア登録者に声をかけるとともに忍野村民生委員児童委員協議会にも協力を求めました。

「育児をすこしでも地域の協力で支えて親の気持ちにゆとりを。そして健全な親子関係の構築につながれば…」と快く賛同していただけました。ですから、育児には不慣れと思われる男性民生児童委員の方々もご参加くださっています。

また、ボランティアさんの中には保育士や幼稚園教諭の資格をもつ方もいて、託児サロンには、かならず1名有資格者のボランティアさんに参加いただいています。



民生委員・児童委員、ボランティアとともに…

8年目を迎えた 「託児サロン」の取り組み



日々の世代間交流が託児サロンの原動力

立ち上げ後、これを継続していくことが大事です。親御さんは日々の生活の中に育児があり、親御さんを支援するための託児サロンも日々の生活の一部である必要があります。決められた日に決められた時間続けられる。支えるのはボランティアさんや民生児童委員さんとのコミュニケーションです。ボランティアさんの年齢はおおよそ20代から70代とバラバラで、中には男性もいらっしゃいます。その中で円滑に事業を行うための大きなポイントは「お互いにフラットな関係」の構築です。

それは社協の私たちも例外ではありません。組織のピラミッド構造ではなく、お互いが子どもを通して意見を交換す



忍野村社会福祉協議会

おまた

小俣 まい子さん

る。ボランティアさんの中には数年前まで託児サロンの利用者だった方もいらっしゃいますから、親御さんは難しい年頃の小学生の子育てについて聞くこともできます。

子ども達が帰った後、全員で昼食をとりながら今日あったこと、相談ごと、いろいろな話をします。そういう何気ないことを続けるのが託児サロンにかぎらず何かを「始めて続けていく」には必要だと思っています。

思わぬ効果を生む高齢者の育児

核家族化が進む現代、忍野村も例外ではなく、高齢化率も14.5%と低いのが特徴です。また県外から転勤で忍野村に来ている若い子育て世代は、日頃おじいちゃん、おばあちゃんと接する機会が少ない。でも託児サロンでは高齢者が積極的に参加しています。

ある親御さんは、『自分の子どもは年数回会う、自分のおじいちゃん、おばあちゃんに慣れなかった。でも、託児サロンに通って、高齢のボランティアさんがうれしい存在であると気づいてくれた』とお話ししてくれます。

なるべくおじいちゃんには男の子、おばあちゃんには女の子を担当してもらうのですが、特に、やんちゃな男の子の育児には、男性に参加していただき非常に良かったと感じる瞬間です。

今では『託児サロンが生きがいになっている』とおっしゃるボランティアさんもいて、とても良い雰囲気になっていると思います。



▶ 今後の課題と
よりよい託児サロンを目指して

回数を増やしてほしいなどの声を聞きます。これは託児サロンが評価されている表れですから大変うれしい。安全第一に考えれば、今の形を維持しなければと思います。かといって社協から直接ボランティア参加を要請するようなこともしたくありません。やはり、今まで通りボランティアさん同士の会話の中で「私も参加します」という流れにならなければフラットな関係は維持できないと思うからです。

社協は来てくださる親御さんやボランティアさん、もちろん民生児童委員さんとの日々のふれあいを通じて託児サロンの楽しさをより多くの方々に伝えながら、託児サロンを続けていこうと思います。

元気な子ども達と一緒に駆け回ったり、
トイレや食事のお世話をしたりと、
大忙しのボランティアスタッフ。
だれもがみんな、
生き生きと輝いていました。



ひとつの出会いが、
だいごみ
子育ての醍醐味を教えてくださいました。

..... 民生委員・児童委員 みうら ゆきのり 三浦 幸徳さん (63歳)

初めて参加した日のことです。ちょうどその日に初めて利用する男の子が、お母さんと離れるのが嫌だと泣き叫んで、誰があやしてもダメだったのに、僕が抱いたらウソみたいに泣きやんだんです。女性のボランティアさんからも「三浦さん、すごい」なんて言われて嬉しくなり、その日はその子の担当になりました。かわいかったですね。その後なかなか会えなかったんですが、実は今日、偶然にも2年ぶりにその子の担当になりましたね。そうしたら、ずいぶん大きくなって、しっかりお話も出来るようになっていたんです。あんなに小さくてわんわん泣いてた子が…と思うと、なんだか目頭が熱くなってしまいましたね。こんな気持ちを味わえるとは思っていなかったのですが、いいものですね。

女性のボランティアさんに助けられながら、
子どもとの時間を楽しんでいます。

..... 民生委員・児童委員 みつもり りょうじ 三森 良二さん (67歳)

最初は自分にできるだろうかと不安もありましたが、元気な男の子と走りまわって遊ぶのはとても楽しいですね。おむつ替えとか、なかなか泣きやまない子の相手とか、ちょっと難しいと思う場面では女性のボランティアさんがちゃんと気づいて助けてくれるので、安心して子どもをみていただけるのも嬉しいです。



小児福祉機器展 in 山梨

山梨県の障害を持った子どもたちとその家族に、より多くの福祉機器を実際に見て試せる機会をつくろうと、小児福祉機器展in山梨実行委員会では福祉機器を扱うさまざまな業者を一堂に会した展示会を行っています。今回は、代表者 有泉 静佳さんに設立経緯や展示会への思いなどについて伺いました。



代表者 有泉 静佳さん

Q1 小児福祉機器展を始められたきっかけは？

A1 まず、山梨県の福祉機器に関する情報は少なく、あっても介護保険に伴った高齢者向けのもので、子どもに関する情報が特に少ないという背景がありました。そのような中、12年前から東京で「子どもの福祉機器展」という展示会が開催されるようになりました。その時にその参加業者さんから、山梨版の福祉機器展をやってみないかと言われたのがきっかけです。現在は、医療従事者の有志が集まる実行委員会形式で行っており、これまで6回の展示会を開催してきました。



Q2 主な活動内容は？

A2 障害を持った子どもたちと家族向けの福祉機器展示会の開催です。障害に関しては、身体、知的、発達障害など幅広い方々に来ていただけるようになっています。展示品も、車いす、姿勢保持椅子、コミュニケーション、食品、日常生活用具等、多種多様なものを揃えるようになっています。また、展示会の開催中に外部講師を招いて、障害者支援に関する活動紹介などの講演会も実施しています。

Q3 障害を持つ子どもたちや家族からの反応は？

A3 子どもからは「触れることで、意識が芽生える」様子が見て取れます。例えば、ベビーカーに乗っていた子が試しに車いすに乗って、自分で動かしてみたら凄い刺激になって、それをきっかけとして自分で移動したいという意欲が出てくる、といった様子です。また、当事者や家族からは、「福祉機器の選択肢の幅が広がった」という声や、「業者の方から各製品の特徴や利用する側の状況に合った製品の選び方などの説明を受けることができ、福祉機器に関しての理解が深まった」という声もあります。

Q4 課題と考えている点は？

A4 来場者をいかに増やしていくかです。福祉機器展の業者さんの多くは県外から来るのですが、ある業者さんから、もう少し来場者が増えるようにしてほしいと言われたことがあります。現在、開催周知に関しては口コミがほとんどなので、今後どのようにしたら来場者を伸ばしていけるのかが課題です。

Q5 代表者からのメッセージ

A5 この福祉機器展を通して、福祉機器に関して正しい情報を得ていただき、福祉機器がより良い生活の手助けになって欲しい。そのためにも、今後も活動を続けたいと思います。

見て 触れて 試して 選ぶ 福祉用具



県立介護実習普及センター展示室では、740点を超える福祉用具を常設しています。広く県民の方々に福祉用具を知っていただくとともに、福祉用具を必要としている方やご家族に展示室に来ていただき、実際に見て・触れて・試しながら、使用におけるアドバイスをしています。ぜひ、購入する前などに実物を見て、使う人にあった物を選び、福祉用具の効果を最大限にいかして欲しいと思います。

この展示室にある福祉用具は、理学療法士・作業療法士・介護福祉士などからなる「介護機器普及事業運営協議会」により、展示申請をされた用具を専門的な視点で審査していただき、許可されたものを展示しています。展示品についての申請は、原則として製造業者は、県内に販売又はレンタルの取扱店があること、販売・レンタル業者は県内に営業拠点があることを条件としています。また、展示福祉用具などの範囲とし

て、介護保険による福祉用具貸与（レンタル）及び福祉用具購入費の支給（介護保険給付）の対象となる、高齢者の自立支援や介護者を援助することができる福祉用具としています。

本センターは平成9年から開所されており、当時より展示している福祉用具は、改良品・新製品などに随時変えて展示しています。そのため、毎年東京ビッグサイトで行われる『国際福祉機器展』へスタッフ自ら出かけ、「見て・触れて・試して」の情報収集や、本センターを訪れた相談者の一助となるよう各種カタログの収集、各メーカーに展示依頼などを行っています。その成果として、今年8月に行われた協議会に16点もの新規展示申請がありました。これからも多くの方のご助言・ご協力により、より充実した展示室にしたいと思います。

あると便利な
グッズたち
福祉用具
紹介

新規展示品

1. ケアスロープ



車椅子のように車輪付きの用具で段差を乗り越えることは、介護者に負担が大きく転倒や転落のリスクも高くなるなど、高い介護技術が要求される行為です。しかし、スロープを使うことで、安全に段差を乗り越えることができます。

このケアスロープは、幅70cmの軽量で今まで入らなかった間口にも対応。アルミ製脱輪防止エッジの採用で衝撃に強く丈夫で安心。折りたたんだ際には、自立するので無理な体勢からの持ち上げ不要です。



2. モンブルガラスつめやすり

つめきりの代わりとして使えるガラスつめやすり。やすり目が非常に細かく、爪・皮膚にやさしく仕上がりがなめらか。高齢者の乾燥した爪から、小さな子どものやわらかい爪までしっかりと使えます。巻き爪、爪白癬でお手入れしにくい爪に最適です。

強化耐熱ガラス製で繰り返し使用でき、使用後は水洗いや台所中性洗剤での洗浄・熱湯洗浄・消毒が簡単にできます。

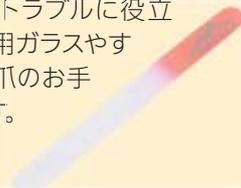
ガラスつめやすり <ケース入り>

プラスチックケース入りで携帯にも便利です。



かかと・つめ用ガラスやすり

魚の目・タコ・かかとのひび割れなど、足のトラブルを抱えている方は、多いのではないのでしょうか。そんなトラブルに役立つのが、かかと・つめ用ガラスやすりです。フットケアと爪のお手入れの両方に使えます。



3. 褥瘡(じょくそう) 予防具・ナーシングラッグ

床ずれは骨の当たる部分に圧迫を受け続け、摩擦やズレの力が加わったり、皮膚の湿潤によって起こりやすくなります。ナーシングラッグは、天然100%の素材を生かして、床ずれの三大要因である圧迫・摩擦・湿潤を除去、削減し「床ずれを防止」するための用具です。

ナーシングラッグ1匹物



ベッドや布団に毛の面を上にして肩からお尻が当たるように敷きます。高密度の毛面で、背中やお尻を支えて体圧を分散し、摩擦を軽減します。通気性と吸湿性に優れムレを防ぎ、一年中使える床ずれ防止用具です。

ナーシングラッグかかとあて(2ヶ1組)



ベッド上で身体が動かせない方や車椅子に長時間座っている方は、知らないうちに、かかとに圧迫を受けていることがあります。このかかとあてを使用することで、ムレ・摩擦を軽減し、床ずれを予防します。家庭の洗濯機で簡単に洗えます。

4. 車椅子クッション

車椅子クッションは座り心地と床ずれ予防を配慮する必要があります。また、使用することで座っている時の支えとなっている坐骨部への減圧と臀部全体への適度な硬さと圧の分散が座位のバランスと安定を保ちます。

ナーシングラッグ車イス用クッション



背もたれの部分と座面の部分が一体となった車イス用のクッション。自然100%の天然素材が、ズレ摩擦を防ぎ、湿気を取り除きます。車椅子での座位が、快適に保たれます。

車イス用座位保持クッション



特殊カットされた3層構造クッションが、車椅子座位を安定させ快適な姿勢を保ちます。また、傾斜のついた硬質ウレタンで前すべりを防ぎ、骨盤の後傾を抑え、座位を安定させ圧の分散を図ります。

5. スライディングシート〈体位変換用具〉

少しの力でらくらく移動・体位変換時に役立つ用具。ベッド上の位置修正や移乗時に、頭や背中、お尻部分に敷き込むと少しの力で移動ができます。介護する側される側とも負担が軽減されます。

介助らくらくシート(S・Mサイズ)



筒状の滑りやすい設計です。ご利用者の身体の下に敷き込んで使用し、ベッド上での移動や体位変換、移乗に便利です。

スライディンググローブ



体位変換やベッド上の移動、手を差し込んで寝具・衣類のしわ伸ばしなど様々な使用ができる移乗用グローブです。

6. 生活便利品

年をとっていても、障害があっても、どんな人にも使いやすい、生活が便利になる用具です。時間短縮できたり、少ない力で使うことのできる物など、様々なものがあります。高齢者や障がい者にとっては、自立にもつながる福祉用具となります。

ユニバーサル角ハンガー・ユニバーサルピンチ

従来のピンチの約7割の力で開き、持ちやすい設計のピンチです。角ハンガーは、軽くて丈夫なアルミフレームに片手で支えやすく、高い場所に掛けやすい背伸びグリップ付きです。



「愛」と「夢」を持って 将来羽ばたけるように



児童養護施設 **あいむ**

- 住所…〒400-0064 甲府市下飯田 2-5-5
- 電話…055-220-1100
- URL…<http://www.kashinokai.or.jp/>

"Smile and Warmth"



平成25年6月、甲府市下飯田に県内7つ目となる、児童養護施設『あいむ』が誕生しました。「法人の基本理念は笑顔とぬくもりです。昨今の

少子化の中で、児童を取り巻くさまざまな事情を受け、老人保健施設と特別養護老人ホームを運営してきた、社会福祉法人山梨檜の会として出来ることはないか、と開設に至りました」と施設長の小名木健さん。

施設は明るく柔らかい色調の造りで、全室個室でプライバシーに配慮され、それぞれのドアを囲むように作られています。これは「入所する児童に『守られている』という安心感を持ってもらいたい」との願いからです。

あいむでは、児童と職員と一緒に食事の買い物に行き、一緒に食事を作り、一緒に食べることなど、『大きな家庭に暮らす年齢さまざまな家族』として生活をし、社会人として施設を巣立った後も落ち着いた生活が出来るようにと配慮されています。また、あいむのモットーの一つでもある『自分自身を大切に自分らしく輝けるように』と児童個人の意見も尊重し、要望を取り入れな

がら、映画館や外食などへ出かけたりもしています。施設の中庭は、近所の子ども達にも開放され、児童と一緒に自由に遊び、近所の駄菓子屋へ行くなど楽しみながら社会性を学んでいます。

あいむが建つ下飯田自治会は施設運営にとっても協力的で、防災訓練や夏祭りなど地域の行事にも参加をしています。「6月に出来たばかりの施設で、手探りではあるが地域の住民として、児童に人とのつながりやあたたかさにも触れてほしい」と職員は願っています。また、施設職員が近くの小学校の下校時に「見守りボランティア」として参加。子育ての相談も行い、必要に応じて関係機関へつなぐパイプ役も担っています。

「児童にどのような背景があろうと、ひとりの人間として尊び、児童が個性を伸ばし健やかに成長して社会に羽ばたいていけるよう、まず自分自身を大切に思う心や、人のために考え行動できる心を育てていきたい」と小名木施設長さんは優しく見守ります。



11月は 児童虐待防止推進月間です

山梨県は児童虐待防止CM「先輩の声」編を制作し、11月1日～30日まで放送をします。「妊婦や乳幼児の保護者」「近い将来親になる若者」に焦点をあてた内容となっています。テレビのほか、県庁ホームページでも視聴できます。

虐待の早期発見のポイント

虐待は、早期発見が重要となります。また、虐待は家庭という密室で行われることが多いため、周りの人が目にするにはあまりなく、発見しにくいことが多くあります。しかし、虐待が起こっていると何らかのサインを子どもや保護者は発

信しています。虐待を見かけたり、判断に迷った時は、まず相談（通告）してください。虐待の相談は匿名でもよく、相談者の名前は固く守られます。また、虐待でなかったとしても責任を問われることはありません。



相談(通告)先

- 中央児童相談所…………… ☎055-254-8617 (国中地域にお住まいの方はこちらへ)
- 緊急時夜間・休日連絡先…… ☎055-254-8620
- 都留児童相談所…………… ☎0554-45-7838 (郡内地域にお住まいの方はこちらへ)
- 緊急時夜間・休日連絡先…… ☎0554-45-7898

9月28日(土)「いきいき山梨ねんりんピック2013」が開催されました。

さわやかな秋晴れのもと、たくさん笑顔に包まれました



大会参加選手の声

テニス大会選手・選手宣誓 鈴木 正雄さん(85歳)

ももとは健康のために始めたテニスですが、気が付くとテニスが楽しくなり続けています。今ではこの大会に参加することも、とても励みになっています。もちろん良い成績を出すことも目標になっているんですが、この大会に参加すると新しいテニス仲間やライバルができ、よりテニスを楽しむことができます。この楽しむことが私の健康につながっています。これからも、この大会に元気に参加させてもらうため、仲間と一緒にテニスを楽しみながら行っていきます。

①バルーンパフォーマンス②とりもっちゃんも一緒に楽しくリズム体操③緊迫した空気の中、早いラリーでビックリの卓球会場④みんなで息のあった舞を披露。会場は美しさに酔いしれました⑤選手宣誓をする鈴木正雄選手⑥「うわっ! そうきましたか!」空気が張り詰める将棋大会⑦実行委員長の横内正明山梨県知事あいさつ⑧みんなで一丸となって頑張りました。楽しかった…⑨ふれあい広場でかざるま作り⑩ニューススポーツの“バグー”にチャレンジ



「元気で楽しい三世代」

をテーマに開催

いきいき山梨ねりんピック2013

この大会は、「お年寄りから子どもまで世代を超えて交流を深める」ことを目的に、いきいき山梨ねりんピック実行委員会(事務局:山梨県社会福祉協議会)主催のもと、甲府・小瀬スポーツ公園をメイン会場として開催されました。

当日は、60歳以上の方が参加できるテニスやソフトバレーボールなどのスポーツ交流大会、囲碁や将棋など文化交流大会が行われました。また、子どもたちと一緒に参加できる、絵手紙、押し花などの体験コーナーやお年寄りが教えてくれる昔懐かしい遊び、その他さまざまなイベントが開催され、多くの親子とお年寄りの方々が交流し、楽しいひとときを過ごしました。



11月11日は、『介護の日』

～いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう～

『介護の日』とは、平成20年に厚生労働省において、『介護について理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障がい者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日』として11月11日と決まりました。

現在、高齢化により介護が必要な方が増加している中、介護にまつわる課題は多様化しています。こうした中、多くの方々に介護を身近なものとしてとらえていただくとともに、それぞれの立場で介護を考え、関わっていただくことが必要となっています。そこで介護の日では、介護についての理解と認識を深め、介護サービス利用者・その家族、介護従事者等を支援するとともに、これらの人たちを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障がい者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施する日として設定されています。



福祉人材確保重点実施期間

今後、高齢化がさらに進行することが予想される中、福祉・介護サービス分野は人材確保に取り組んでいかなければならない分野であります。そこで福祉・介護サービスの仕事は、働きがいがあり、特に若い世代の方々から魅力ある職業として選択されるようにする必要があります。

このため、厚生労働省は、平成19年8月に「社会福祉

事業に従事する者の確保を図るための措置に関する基本的な指針」を策定し、指針に基づく取り組みを進めているところです。その一貫として、11月4日から11月17日の2週間に『福祉人材確保重点実施期間』と設定し、関係機関と連携して福祉・介護サービスの意義の理解を一層深めるため普及啓発および福祉人材の確保・定着を促進するための取り組みを行っています。

●福祉・介護の仕事の魅力を伝えるテレビ番組の放映

本会では福祉・介護事業所の仕事やそこで働く人を紹介し、その仕事の大切さ、やりがい、魅力等を伝える番組を制作、放映します。

- 放映テレビ局：山梨放送（YBSテレビ）
- 放映日：11月9日（土）午前11時10分～午前11時25分（予定）

●介護就職デイ（福祉関係就職面接会）

本会福祉人材センターでは、福祉人材確保重点実施期間中にハローワーク（公共職業安定所）と共催で福祉関係就職面接会を開催します。

求職者の参加については、参加費無料、事前申込不要です。福祉・介護の仕事に求職希望、興味がある方は是非ご参加ください。

- 甲府会場…期日：平成25年11月14日（木）13:30～16:00（予定） 会場：ベルクラシック甲府 3階
- 富士吉田会場…期日：平成25年11月20日（水）13:30～16:00（予定） 会場：富士吉田市民会館

■お問い合わせは…山梨県福祉人材センター ☎055-254-8654

福祉・介護のしごとと魅力発信事業

学校紹介

本会では、『福祉・介護のしごとと魅力発信事業』として、県内の介護福祉士養成校を会場に学校見学会を兼ねた講演会等の情報発信イベントを8月～10月に開催しました。

これから進路選択する中学生、高校生世代及びその保護者を中心に、福祉・介護のしごとへの理解を深めていただき、福祉・介護分野へ進路選択を検討いただくきっかけにしたいと考えています。

今回の会場となった介護福祉士養成校では、入学に関する問い合わせ等を随時受け付けています。進路選択にあたって、各学校までお気軽にお尋ねください。また、福祉人材センターでは、福祉・介護の仕事に関する資格取得等に関する相談にも応じています。お気軽にご連絡ください。

福祉講演会(身延山大学)

山梨県立大学人間福祉学部福祉コミュニティ学科

所在地(お問い合わせ先): 〒400-0035 甲府市飯田5-11-1 TEL:055-224-5261 FAX:055-228-6819

ホームページアドレス: <http://www.yamanashi-ken.ac.jp/> 定員:50名

取得できる資格: 介護福祉士国家試験受験資格・社会福祉士国家試験受験資格・

精神保健福祉士国家試験受験資格・中学校、高等学校教諭一種免許状(家庭科)・

高等学校教諭一種免許状(福祉科)・社会福祉主事任用資格・児童指導員任用資格 など

身延山大学仏教学部福祉学科(福祉学コース・こども学コース)

所在地(お問い合わせ先): 〒409-2597 南巨摩郡身延町身延3567「入試事務室」

TEL:0556-62-3700 FAX:0556-62-0727

e-mail: nyuushi@min.ac.jp ホームページアドレス: <http://www.min.ac.jp/> 定員:福祉学科(20名)

取得できる資格: 介護福祉士国家試験受験資格・社会福祉士国家試験受験資格・保育士・

高等学校教諭一種免許(福祉科)・博物館学芸員・社会教育主事・社会福祉主事・児童指導員

児童福祉司・身体障害者福祉司・知的障害者福祉司・生活指導員

帝京福祉専門学校

所在地(お問い合わせ先): 〒405-0018 山梨市上神内川36-1

TEL:0553-22-6776 FAX:0553-22-7757

ホームページアドレス: <http://www.teikyo-mwc.ac.jp/> 定員:80名

取得できる資格: 介護福祉士(平成26年度入学生から国家試験受験資格)

優和福祉専門学校

所在地(お問い合わせ先): 〒409-3853 中巨摩郡昭和町築地新居374-1

TEL:055-268-6001 FAX:055-268-6003

ホームページアドレス: <http://yuwa.ito-gakuen.ed.jp/> 定員:40名

取得できる資格: 介護福祉士(平成26年度入学生から国家試験受験資格)

学園祭「帝翔祭」(帝京福祉専門学校)

■ お問い合わせ・ご相談は…山梨県福祉人材センター 〒400-0005 甲府市北新1-2-12
☎055-254-8654 ホームページアドレス: <http://www.y-fukushi.or.jp/>

・・・一人で悩まないでください・・・

保健師や認知症介護の経験者であるわたしたちにお話を聴かせてください。

山梨県

認知症コールセンター

お父さん…
認知症かなあ



物忘れとは
違うの？



家族ではないけれど、
何か協力できないかなあ



介護がつらいつて
言いたいけれど…



周りの対応って大事



利用できるサービスは？



電話相談開設日 月曜日～金曜日 午後1時から午後5時まで※

 **055-251-0001**

担当相談員

- ◆月曜日～木曜日：保健師
- ◆金曜日：「認知症の人と家族の会」会員

- 相談は無料
- 秘密は厳守します
- 必要に応じ専門機関を紹介します

※午前9時から午後1時までは、山梨県高齢者総合相談センター（☎055-254-0110）で受けています。
土曜日・日曜日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）はお休みです。

介護家族の方々には、介護に迫られる毎日にストレスを抱え、一人で悩み苦しんでいるのではないのでしょうか。センターは、介護している方々が頑張りすぎないように、医療や福祉サービスなどの情報を伝え、上手に使えるよういっしょに考えます。また、地域住民の生活を支える民生委員の方々などからのご相談にも応じています。

電話相談は顔を合わせることも、名前を知らせる必要もありません。

◆◆◆ 安心してご相談ください ◆◆◆

教育を支援する 公的貸付・給付制度

教育を支援する公的貸付・給付制度としては、次のものが挙げられます。

貸付け・給付を受けるためには、要件を満たすことが必要であり、また制度には優先順位があります。詳しくは取扱い・相談窓口へご相談ください。

	制度の内容	対象者
公益財団法人 山梨みどり奨学会育英奨学金 公益財団法人 山梨みどり奨学会 ☎055-223-1769	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通被災遺児奨学金 ● 育英奨学金 ● 修学奨励金 	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通被災遺児奨学金 交通事故により、突然に父もしくは母又はこれに代わる親族で主たる家計支持者を失った幼児、児童生徒 ● 育英奨学金 県内に住所を有する保護者の子弟で、高等学校又は専修学校高等課程に在学する優れた生徒であって、経済的理由により修学に困難がある者 ● 修学奨励金 逆境にあっても、常に前向きに努力を重ね、父母への孝行、社会や地域への貢献等の他の模範となる行為を行っている生徒
赤尾育英奨学会大学生奨学金 公益財団法人 赤尾育英奨学会 ☎0555-20-0900		山梨県内の大学・短大及び大学院に在籍し、学業、人物ともに優秀でかつ健康であって、学資の支弁が困難と認められる者。大学・短大生は第1学年在籍者。
母子・寡婦福祉資金 各福祉事務所 各町村役場	<ul style="list-style-type: none"> ● 修学資金 ● 就学支度金 ● 修業資金 	<ul style="list-style-type: none"> ● 母子福祉資金 20歳未満の子どもを抱えている母子家庭の母 ● 寡婦福祉資金 子どもが20歳以上になって、母子福祉資金が借りられなくなった寡婦及び40歳以上の配偶者のない女子
生活福祉資金 教育支援資金 お住まいの市町村社会福祉協議会 又は山梨県社会福祉協議会 ☎055-254-8610	<ul style="list-style-type: none"> ● 就学支度費 ● 教育支援費 	低所得世帯
介護福祉士等修学資金 山梨県社会福祉協議会 ☎055-254-8654	介護福祉士又は社会福祉士を養成する施設に在学する者に修学資金を貸与。	山梨県内の介護福祉士等の養成施設等に在学し、卒業後に県内で介護業務等に従事する意思のある者。
都留市奨学金制度 都留市総務部 行政管理課法制・安全室 ☎0554-43-1111	都留市の住民であって、公立大学法人都留文科大学に入学する者及び在学中のもので、能力があるにも関わらず、経済的な理由で修学が困難な者に対し奨学金を貸与。	<ul style="list-style-type: none"> ● 都留市に3年以上住所を有している者の子弟 ● 品行が正しく、成績が優れ、健康状態が良好であること ● 経済的な理由により、就学が困難であると認められること。
甲斐市奨学金貸付制度 甲斐市教育部教育総務課 ☎055-278-1695	甲斐市内に在住する優秀な生徒でありながらも、経済的理由により修学困難な者に対して奨学金を貸与。	<ul style="list-style-type: none"> ● 甲斐市の住民基本台帳に記載されている者の子弟であること ● 学費の支弁が困難であること(所得制限あり)
日本学生支援機構奨学金 日本学生支援機構 関東甲信越支部 ☎03-4330-0635 在学中(進学予定)の学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 第一種奨学金(無利子) 特に優れた学生及び生徒であって経済的理由により、著しく修学に困難があるものと認定された者 ● 第二種奨学金(有利子) 大学その他政令で定める学校に在学する優れた学生及び生徒であって経済的理由により修学に困難があるものと認定された者 ● 入学一時金 	優れた学生及び生徒であって経済的理由により修学に困難のある者
国民生活事業 教育ローン 日本政策金融公庫(国民生活事業窓口) 甲府支店 ☎055-224-5361 教育ローンコールセンター ☎0570-008656	<ul style="list-style-type: none"> ● (入学時) 入学時の学校納付金、受験にかかった費用そのほか入学のために必要な費用 ● (在学中) 授業料など学校納付金、住居にかかる費用、通学に必要な交通費、修学旅行費、学生の国民年金保険料など 	世帯の年間収入が基準以下もしくは、年間収入が990万円(所得770万円)以内であって特例要件に該当する方



イベント・ご案内

第61回山梨県社会福祉大会

山梨県の社会福祉関係者が一堂に会し、今日まで社会福祉の発展に功績のあった個人・団体などに対し、感謝の意を表すための表彰を行います。

また、大会を通してこれからの社会福祉の推進方策を探ります。ぜひご参加ください。

- 主催…山梨県社会福祉協議会 山梨県共同募金会
- 日時…平成25年11月25日(月) 午後1時30分～3時30分
- 場所…コラーナ文化ホール(山梨県立県民文化ホール)
大ホール 甲府市寿町26-1
☎055-228-9131
- 内容…①大会式典
②記念講演「甲州弁が地域をつなぐ
～キャン・ユー・スピーク甲州弁?～」
講師：五緒川 津平太さん
- 参加費用…無料
- お問い合わせ先…県社協総務企画課 総務企画担当
☎055-254-8610

報告・ご寄附

善意をありがとう

NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド(中村^{まさお}理事長)様から県社会福祉協議会に対して、500,000円のご寄付をいただきました。同団体からの寄付金は累計で42,500,000円になります。

寄付金は、山梨県民間社会福祉基金として積み立てるとともに、一部を予算化し福祉救済などを実施するために活用させていただきます。ありがとうございます。

- お問い合わせ先…県社協総務企画課 総務企画担当
☎055-254-8610



株式会社NTTドコモ
山梨支店 川口^{かずひと}和人
企画総務部長様(左)
から寄付金を受け取る
窪田守忠県社協常務
理事

第13回 全国障害者 芸術・文化祭やまなし大会



開催日 12月6日から8日の3日間

会場 アイメッセ山梨(甲府市大津町2192-8)

文化の年といわれる今年の山梨。その最後を飾る第13回全国障害者芸術・文化祭やまなし大会が開催されます。障害のある方が自ら創り、障害への理解を促進しながら、多くの人との様々な交流を深める山梨ならではの大会を目指しています。

やまなし大会を契機に、様々な交流が生まれ、障害の理解につながるよう、多くの方のご来場を心からお待ちしております。

- お問い合わせ:山梨県障害者福祉協会 ☎055-252-0100 FAX 055-251-3344
<http://www.13geibunshai.net/> e-mail:info@sanshoukyou.net



- 日頃の成果を披露する舞台発表
- 全国障害者芸術文化作品展
- バリアフリー寄席
- 認知症を題材とした演劇の上演
- 県立美術館と連携した企画展

さらに

- 著名人のステージショー
- 県内各地の食文化
- 全国B級グルメの店

貸し出し 図書紹介

『やさしくつくれる 新家庭介護の食事 ~おいしく楽しく元気な暮らし~』

この本は、お年寄りの体の特徴や変化に合わせた食事づくりや季節に合った献立、おいしく楽しく食事をすることの重要性や栄養に関する知識などを、写真やイラスト・図を交えながら具体的に解説しています。家庭介護者のための介護食の工夫・アレンジ方法などがわかりやすく紹介されていて、介護従事者の方々にも参考となる本です。

- 著者:西原修造氏・田中弥生氏
- 発行所:株式会社 日本医療企画 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル
☎03-3256-7495

この図書は、介護実習普及センターで貸し出しを行っています。
この他、介護・看護・福祉についての本268冊、ビデオ・DVD188本の貸し出しをしています。
詳しくは県立介護実習普及センターにお問い合わせください。 ☎055-254-8680

